



KUMAMOTO

YMCA NEWS

THE KUMAMOTO
YOUNG MEN'S
CHRISTIAN
ASSOCIATION

No.527

2016

4

子どもが同じプログラムに参加するお母さんたちと親しくなれるのもいいですね。新しいご縁をいただいています。

YMCAのこどもえいごと体操教室に参加中!!

今年4月からは、上通YMCAで英会話に再チャレンジします! 今の一番の楽しみです!



三世代をつなぐ出会いと学び

左から 及川理恵ちゃん(9歳)、柏原敏恵さん・佳吾くん(4歳)・千恵ちゃん(2歳)、松岡郁子さん

実体験が信頼への証

YMCAで育まれた感謝の気持ち

松岡さんの長女の雅恵さん、次女の敏恵さん、長男の正勝さん、三女の郁恵さんと、4人の子どもたちも次々にYMCAのスキーキャンプやスケート、水泳教室など季節ごとのプログラムに参加。小学生3、4年生になると米国モンタナ州のヘレナなど、海外のキャンプも体験しました。「自立心が芽生えると思い、私の判断で海外キャンプに参加させました。その後の留学やホームステイにもつながり、貴重な体験をしたと思います。キャンプリーダーは子どもたちに感謝することの大切さを伝えてくれました。押し付けるのではなく、「今、このキャンプに来ることができるのも家族のおかげなんだよ」というように、自然と理解できるように促してくれたと思います」と松岡さん。

現在、敏恵さんの2人のお子さんも水泳やベビー体操などのプログラムに通っています。「YMCAでは楽しい思い出ばかり。自分自身も経験しているから、リーダーに安心してお任せできます」と、厚い信頼を寄せています。



敏恵さんが中学2年の春休みにホームステイしたモンタナ州ヘレナのファミリー



昨年、家族10人でアメリカ旅行へ。その際、敏恵さんのホストファミリーの家を再訪

子どもたちに受け継ぐ 未来の森づくり

YMCAのボランティア活動にも積極的に取り組んできた松岡さん。過去にはYMCAの活動を支える委員も務めました。熊本YMCAの指針である「熊本YMCAの使命」の策定メンバーにもなり、思いを込めて生み出された言葉が、現在でもリーダーやスタッフにより日々実践されていることを感慨深いと話します。

2013年の阿蘇森林たんけん隊には、長女の及川雅恵さんとその娘の理恵ちゃんと一緒に、三世代で参加。YMCA的の石キャンプ場にブルーベリーを植樹しました。「前年のフロストバレーYMCAの訪問で、現地の果樹園を見て感銘を受けました。阿蘇にも、未来の子どもたちに受け継がれる森を作りたいと思っています。YMCAでの体験は、自ら学ぶきっかけになり、子どもたちにとって人生のかけがえのない財産になっています」と松岡さん。熊本YMCAとの絆が孫の世代にもつながっていると、話してくれました。



心に残る数々の出会い きっかけは英会話

三世代で熊本YMCAに関わる松岡郁子さんと、次女の柏原敏恵さん。そのきっかけは、母である松岡さんが大学卒業後、英会話を学ぶために熊本YMCAを訪れたことでした。「その頃、英語を習うならYMCAというイメージがありました。英語を習いながら、英語劇をするなど、楽しい思い出がいっぱいです」。

結婚後、名古屋へ転居した際は名古屋のYMCAに通い、3年後再び故郷の熊本へ。ご主人の仕事を手伝いながら、当時のYMCA国際センターで、英語、韓国語、ドイツ語を学び、さらにコンピューターのクラスも受講。「いろいろなクラスに顔を出して、多くの友人ができました」と当時を振り返ります。

Pickup



147名が巣立った
YMCA学院卒業式



中央YMCA体育英語
幼稚園笑顔の卒園式

園児たちが
元気な歌を披露した
水前寺幼稚園卒園式



Information 行こう 見よう 楽しもう

地球環境について考える アースウィークくまもと2016

4月20日(水)～26日(火)、27回目となるアースウィークくまもとが開催されます。20日(水)は、水前寺から市役所前までの区間をパレードし、CO₂削減のため、バス・自転車・電車の利用を呼びかけます。また、2015年に、フランスで開催されたCOP21(国連気候変動枠組条約第21回締約国会議)で採択された温暖化対策の国際枠組み『パリ協定』について学びを深める「COP21パリ会議報告会」がアースデイの22日(金)に開催されます。

ノーマイカーデー・パレード

回 4月20日(水) 7:30集合
場 戸井の外公園(水前寺)集合・出発
費 無料
問 アースウィークくまもと実行委員会事務局
TEL 096-353-6397



2012年からくまもモンも参加。一緒にノーマイカーデーをアピールします

COP21パリ会議報告会

回 4月22日(金) 18:30～20:30
場 熊本県庁新館201号会議室
内 講演「COP21パリ会議で採択された『パリ協定』とは何か」(講師 伊与田昌慶さん 気候ネットワーク研究員) / パネルディスカッション「脱炭素のまちづくりを語ろう」
催 CAN-Japan・アースウィークくまもと実行委員会
問 FAX 096-362-3776 / E-mail earthweek.kumamoto@gmail.com

アースウィークとは

1970年4月22日、地球環境保全のために行動する日としてアメリカでスタートしたアースデイ。熊本では、1990年に始まり、現在は活動期間を1週間に延長し、「アースウィーク」として開催。熊本YMCAはアースウィークくまもと実行委員会の一員として、活動をサポートしています。



つどい感じる3日間 熊本YMCA大会



例年の定期総会に加え、YMCAに関わる皆さんが楽しく交わるような催しを企画しています。

【1日目】
回 5月27日(金) 18:00～21:00 場 中央YMCA
スケジュール 軽食18:00～ / 礼拝・表彰・定期総会 18:30～ / スピーチ 20:00～ 問 対象者には5月に案内を郵送

【2日目】
回 5月28日(土) 10:00～21:00 場 中央YMCA
対象 どなたでも スケジュール YYYフォーラム(ワイズメンズクラブ国際協会西日本区九州部) 10:00～ / 講演会 13:30～(講師:前アジア・太平洋YMCA同盟総主事 山田公平さん) / 活動紹介ブース 15:00～ / 懇親会 18:00～ 問 5月号で案内

【3日目】
回 5月29日(日) 14:00～18:00 場 熊本市子ども文化会館 対象 どなたでも スケジュール 講演会 14:00～(講師:やねだん・自治公民館長 豊重哲郎さん) / 分団協議 16:00～ 問 5月号で案内
※やねだんとは鹿児島県鹿屋市串良町柳谷地区の行政に頼らない「むら」おこしを目指す集落です。

地域で取り組む環境活動 アースウィークくまもと2016賛同プログラム



私の街のクリーン作戦

YMCA横の清爽園及び周辺を清掃します。
回 4月23日(土) 8:00～9:30
場 清爽園周辺
費 無料
催 中央YMCA
問 TEL 096-353-6391(締切/4月22日)

わたしたちの街クリーン大作戦

YMCA学院建築科、日本語科の学生とともに清掃活動を行いましょ。回 4月16日(土) 10:00～12:00
場 帯山西小学校校区
費 無料
催 東部YMCA
問 TEL 096-382-6661

ロードクリーンボランティア

朝の清掃活動で、さわやかな汗をながしませんか?
回 4月23日(土) 8:00～8:45
場 国体道路 長嶺団地周辺
費 無料
催 ながみねファミリーYMCA
問 TEL 096-385-0676(締切/4月22日)

防災まちあるき ～ハザードマップをつくろう～

自分たちでハザードマップ(防災地図)を作成。防災倉庫見学も行います。
回 4月17日(日) 9:00～12:30
場 中央公民館(白川公園となり)
費 100円(保険代含む)
催 上通YMCA
問 TEL 096-352-2344



前回は約100名が参加。YMCA日本語科の学生と、国際交流しながらの清掃作業となりました

森林探検隊

春の阿蘇で植樹体験などを行います。
回 4月24日(日) 10:00～14:30
場 阿蘇YMCA及び周辺
費 大人1,000円 こども500円
催 阿蘇YMCA
問 TEL 0967-35-0124(締切/4月20日)



昨年は防災ウォークとして開催。小学3年生～大人まで総勢32名が参加しました

江津湖たんけん隊

上江津湖の清掃活動、カヌー体験、生きもの探しをしながら環境について考えましょ。
回 4月17日(日) 10:00～12:30
場 上江津湖公園周辺
費 無料
催 みなみYMCA
問 4月11日(月) 9:30より受付開始
TEL 096-378-9370



昨年は的石キャンプ場に60本のブルーベリーと桜を植樹。阿蘇YMCAでは花壇整備も行いました

R | E | P | O | R | T

違いを知り、交流を深める 海外プログラムを実施

2月から3月にかけて、カンボジア、ミャンマー、イスラエル、タイ各国を訪問する海外プログラムが行われました。

2月5日(金)～2月10日(水)に行われたカンボジア・スタディツアーにはユースリーダーを含めた4名が参加。独居高齢者を訪問し、庭先の畑を一から耕し野菜を植えたほか、最終日には、カンボジアYMCAが運営しているチャイルドケアプログラムの施設を訪問しました。給食を作って一緒に食べ、建物の壁にペイントするなど、子どもたちと交流の時を持ちました。

2月18日(木)～24日(水)のミャンマーモガウンYMCAエイズ孤児院を訪ねる旅には、東京と大阪からのメンバーも合わせて7名が参加しました。2014年に熊本で1年間研修をし、現在孤児院の運営スタッフを務めているヌー・タン・サンさんに再会。現地YMCAの活動内容も学び、支援から交流への段階的発展に向けてお互いが意識し努力する必要性を確認しました。

2月25日(木)～3月2日(水)に実施したイスラエル聖地研修には、9名が参加。イエス誕生の地に築かれたと言われるベツレヘムの聖誕教会やガリラヤ湖などを訪れました。イスラエルがキリスト教理解、紛争解決、平和を考える上で大変重要な地であることを実感するツアーとなりました。参加者にはイスラエル政府及びエルサレム市長の正式な修了証が発行されました。

2月29日(月)～3月4日(金)に行われたタイ・スタディツアーには、YMCA学院老人ケア科2年生と県内外の大学生など16名が参加。タイ北部のチェンライ、チェンマイを訪れました。HIV・エイズ孤児施設を訪問し、職業訓練、就労場所の確保のための裁縫場、小農園等を見学。また、少数民族の村でのホームス

テイや熊本YMCAが支援する若竹寮の訪問により、交流を深めました。参加者からは「子どもたちの笑顔や出会った人たちの優しさに感動し、国や言語を超えた人と人とのつながりの大切さを心から感じました」等の感想が寄せられました。



カンボジア／独居高齢者宅での畑仕事後に



ミャンマー／孤児院の子どもたちと交流



イスラエル／東エルサレムYMCAも訪問



タイ／若竹寮の子どもたちとともに

地域の防災を考える
むさしYMCA防災体験塾

3月13日(日)、むさしYMCAにて初めて防災をテーマにした「防災体験塾」を実施しました。

今回は、「避難所体験」「防災ゲーム」「防災食」の3つのプログラムを行いました。避難所体験では、何もなく場所だけを区切られた状態と段ボール製の仕切り板をつけた状態を体験。「イメージしていた以上に避難所生活が大変であることが分かりました」と感想が寄せられました。

また、防災ゲームは、阪神淡路大震災で起きた出来事をカードゲームにしたもので、参加者たちは災害における様々な問題に興味を持った様子でした。

職員 福山 裕敏



受け継がれていくもの

新しい芽が息吹く季節となりました。今年も、希望に満ち溢れ、夢に向かって第一歩を踏み出そうとYMCA学院の門をたたいた学生がいます。また、新しい生活に期待で胸いっぱいの中、YMCAの幼稚園や保育園に入園した子どもたちがいます。たくさんの笑顔で、YMCAも息吹く季節です。YMCAで、多くの体験と出会いに育まれ、素晴らしい実を結んでほしいと思います。

先日まで放送されていたNHKの朝の連続テレビ小説「あさが来た」の主演のモデルとなった広岡浅子は、YMCAとも関係の深い人物です。静岡県の御殿場にあり、昨年末100周年を迎えたYMCA東山荘の建設の際には、多くの寄附金を集めました。この施設の設計をしたのがウィリアム・メレル・ヴォーリズです。

彼は1900年にコロラド大学に入学し、YMCA活動に多くの時間を割きました。1905年にYMCAより派遣され、近江八幡の県立高校へ英語教師として来日。キリスト教の伝道、医療活動、教育活動、建築家としても活躍。工場の女性従業員たちのため、働きながら学べる制度をつくりました。これはのちに総合学園「学校法人近江兄弟社学園」へと発展します。キリスト教精神のもと精神・知性・身体の調和のとれた教育

を行ったのです。また、彼の建築物は、日本全国に約1500棟以上建てられ、熊本では、九州学院のブラウン・チャペル、九州ルーテル学院、ルーテル熊本教会が現存しています。合理的で健全かつ良心に溢れた優しさを具体化させた建築物、それこそが、そこに住む人々のため、ヴォーリズが終始持ち続けた「クリスチャンヒューマニズム」の証とも言われるものです。

100年もの時を超えた今、ヴォーリズが残した精神や教育は、建造物を通して、また、様々な働きを通して、今日に受け継がれています。ヴォーリズが青年期にYMCAで体験したことが多くの実を結んでいるのです。今、YMCAで撒かれているたくさんの種が、これから100年の後も、大きく実を結んでいくような働きをしていきたいですね。

talanton

熊本バンド
140周年記念
講演会

「熊本バンドのキリスト教」 「宮川経輝と広岡浅子—ある信仰の継承—」

教会一筋に生きた宮川経輝

1857年、熊本県の阿蘇に生まれた宮川経輝は、熊本洋学校に入学。L.L.ジェーンズの影響を受けて聖書を学ぶようになりました。「熊本バンド」結成のきっかけとなる奉教趣意書の筆頭に署名していることから、いかに信仰に燃えていたかが分かります。

同志社英学校に移り、在学中には梅本町公会(後の大阪教会)で説教することもありました。卒業後は同志社女学校教頭になり、その後、信徒に懇願されて大阪教会仮牧師に就任。梅花女学校を設立した牧師の澤山保羅から授手礼を受



けて牧師となります。その後は教会一筋に生き、43年間を大阪教会牧師として捧げ通しました。海老名弾正、小崎弘道と並んで組合教会の三元老の一人と言われ、その信仰は後代に継承されています。

神は“情”を満足させてくださる

広岡浅子は、NHKの朝ドラのモデルとして、ご存知の方も多いでしょう。実業家として成功した浅子は、女子教育を主唱していた成瀬仁蔵に協力して日本女子大学の創設にも貢献しました。そのような浅子は大阪教会で宮川から洗礼を受けたクリスチャンでした。きっかけは浅子の病気です。60歳頃になって胸部の腫瘍手術を受けた浅子は、麻酔で意識を失いつつある中、神の存在を強く感じる体験をし、神に対する強い憧れを持つようになりました。

彼女が宮川に会う機会をつくったのは、当時梅花女学校の校長であった成瀬です。宮川の指導を受け、キリスト教を学ぶうちに、浅子はこれまで、自分が学問によって神を知ることができる

1月29日(金)に開催された熊本バンド140周年記念講演会の内容の一部をご紹介します。

と傲慢になっていたことに気づかされます。再度病気になった浅子は、見舞いに来た宮川に心境を語ります。宮川から受洗を許され、病氣回復後の1911年、クリスマスに洗礼を受けました。

浅子の信仰の特徴は、“神がともにいてくださる”という実感にあります。浅子は、大実業家としての人生を顧みて、これまでをむなしのものに感じたといいます。宮川と出会うことで、神は身近にいてくださり、たんなる知識ではなく、“情(気持ち)”を満足させてくださる方であることを知ることができました。



講師/石川 立さん

同志社大学キリスト教文化センター所長。同志社大学神学部教授/1953年、愛知県生まれ。東京大学文学部卒、テュービンゲン大学神学部で学んだ後、同志社大学大学院神学研究科博士前期課程修了。日本基督教団倉敷教会にて担任教師。ミュンヘン大学神学部博士課程修了、神学博士。1996年、同志社大学神学部入社、現在に至る。

Snap

YMCAの活動の様子や思い出を写した写真を募集します。スマートフォンや携帯電話などで撮影した写真をコメントを添えてお送りください。投稿いただいた写真は、ホームページやYMCA NEWSでご紹介させていただきます。投稿者の中から選考で毎月5名に、YMCAオリジナルノートをプレゼントします。

メール本文に以下の内容を
書いて応募してください。

- 写真タイトル
- 撮影者名(本名)
- ハンドルネーム
- 撮影場所
- 写真についてのコメント

メールはこちらから▼



YMCAオリジナルノート▲

※画像サイズは横幅900pixel×縦幅600pixel程度以上(横長の場合)で著作権、肖像権を侵害するおそれのないものに限りま



わたしと聖句
日本キリスト改革派熊本教会
西堀元

コリントの信徒への手紙Ⅰ 15章42節

死者の復活もこれと同じです。蒔かれるときは朽ちるものでも、朽ちないものに復活し、…

朽ちない命へ

死んでいるのか、生きていっているのか。乾燥や低温にさらされると代謝がない状態で生を保つ。クマムシはそういう生物だ。体長は0.1から1ミリ程度。南極の昭和基地近くで1983年11月に採取され、零下20度で保存されていたコケに含まれていた。

2014年5月に解凍し水を与えると2匹が動き出した。一匹は卵を生み、子孫まで残した。生存記録としては世界最長。まるで奇跡。なぜこんなことが可能かは分からないが、解明されると医療に貢献するかもしれないと言われている。

さて、見出しの聖句は、種が蒔かれて死ぬように、神から新しい身体を与えらることをたとえて教えている。一世紀のパレスチナでは植物が芽を出すことが奇跡と見なされていた。当時は発芽の実際は理解されておらず、「死んでいる」種子が植えられ、新しく開花することは本当に奇跡的なことだった。でも復活なんてあるはずない。息を吹き返したクマムシも結局、死んだから。

ある日、新米牧師が、聡明な婦人のところへキリスト教を学びたいからというので、伝道しに訪問をした。舌足らずな青年の一所懸命な話を聞き終わり、その奥さんはため息をついて言う。「結局、奇跡が信じられなきゃあ、だめなんです。宗教を信ずる方にとっては、当然でしょうけど、「彼は答えた。「死人の中から復活した方を信じなくても、私たちが生きて行けるのが、結局は問題ではありませんか」と。

発行所/ (公財) 熊本YMCA
〒860-8739 熊本市中央区新町1-3-8

TEL 096-353-6397(代)

発行人/ 岡 成也 編集人/ 富森 靖博

定価60円 購読料は会費に含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

2016年度基本聖句

コリントの信徒への手紙Ⅱ 13章11節
思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいてくださいます。